

## NIKE AIR FORCE

## OG Leather Player's Edition

## ■ オリジナル レザー プレイヤーズエディション

今でこそ豊富なカラーバリエーションを展開するAF1も、オリジナル発売時のラインナップは限られている。基本はホワイトカラーをベースに、グレーもしくはシルバーのスワッシュの組み合わせが大定番で、現代のヴィンテージスニーカー市場でも、定番色以外のカラーウェイを目にする機会は非常に少ないのが現実だ。ここで紹介するのは、「くの字」ステッチが採用された貴重なバリエーションカラーで、ライニングにはサイズや出荷日と共に「THPS」の文字がプリントされている。これは「プレイヤーズエディション」を意味する表記で、一般的に店頭販売されるインラインモデルではなく、特定の選手、もしくはチーム様に支給された貴重なプロダクトだ。



Release year: 1982  
AIR FORCE 1 HIGH  
Style Code: NO DATA  
資料提供: yusuke\_airforce1

## NIKE AIR FORCE

## 1990 Foot Locker Exclusive

## ■ 1990年製 フットロッカー別注モデル

ボルチモアで商業的に成功した復刻AF1の追い風を受け、1990年代には有力なスポーツショップも相次いで復刻AF1を別注するようになる。ここで紹介するローカットモデルは1990年製のフットロッカー別注カラーで、スワッシュ無しの“OG”ヒールロゴとシュータンタグの裏に縫い付けられたサイズタグは、時代を象徴するディテールだ。ボルチモアで展開された復刻コレクション“Color of the Month”が、基本的にハイカットをベースに採用していたのに対し、フットロッカーはローカットをカレッジカラーでコーディネート。オレンジやグリーンに染まる魅力的なAF1を復刻した。ここで紹介するブルーとパープルの中間色に染まる1足も、アメリカンスポーツファンにとってはなじみ深いカラーウェイなのである。



Release year: 1982  
AIR FORCE 1 LOW  
Style Code: NO DATA  
資料提供: yusuke\_airforce1

## NIKE AIR FORCE

## OG Leather Player's Edition

## ■ オリジナル レザー プレイヤーズエディション

ライニングに「THPS」とプリントされた初期型プレイヤーズエディションの中でも、日本サイズ(28.0)とUSサイズ(10)が併記された非常に珍しいAF1だ。恐らく日本の実業団チーム向けに生産された個体の余剰品(流出品)と予想され、ここで紹介する個体はコンディションも良く、国内のコレクターに加え、海外のスニーカーヘッズにとっても垂涎の1足である。ホワイトとブルーのオリジナルAF1はインラインモデルにもラインナップされたが、発売当時の定価は2万5000円と高額であり、ごく限られたバスケットボールマンしか手にすることが出来ない「高嶺の花」であった。その記憶が忘れられないスニーカーファンならば、一度は手にしてみたいプロダクトだろう。



Release year: 1983  
AIR FORCE 1 HIGH  
Style Code: NO DATA  
資料提供: yusuke\_airforce1

## NIKE AIR FORCE

## 1991 Foot Locker Exclusive

## ■ 1991年製 フットロッカー別注モデル

ホワイトカラーをベースにイエローを組み合わせ、シュータンタグやヒールロゴにブラックの刺しゅうをあしらった、1991年発売のフットロッカー別注モデル。現行の復刻モデルと同じくシューズの内側に縫い付けられたサイズタグに加え、履き口部分にもサイズがプリントされているのはレアディテールである。このカラーウェイにおける最大の特徴は、シュータンとヒールの文字がブラックである点だ。今でこそ多色使いのAF1は珍しくないが、当時はシューズ全体を2色で構成するのがお約束で、アッパーがホワイトとイエローの組み合わせであれば、シュータンの文字やヒールロゴはホワイトを採用していた。その“お約束”というデザイン上の制約を取り払った別注モデルの、AF1はストリートシーンに欠かせないプロダクトとして存在感を高めていくのだ。



Release year: 1991  
AIR FORCE 1 LOW  
Style Code: NO DATA  
資料提供: yusuke\_airforce1